

意見書（証明書）
（施設長） 殿

園児名 _____

下記疾患の症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

令和 年 月 日から登園可能と判断します。

令和 年 月 日

医療機関名 _____

医 師 名 _____

(印)

かかりつけ医 様へ

幼稚園・保育園等は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の記入をお願いします。

保護者 様へ

下記の感染症について、子どもの症状が回復し、かかりつけ医により集団生活に支障がないと判断され、登園を再開する際には、この「意見書」（作成費用保護者負担）を在園保育施設に提出して下さい。

○医師が記入した意見書が必要な感染症

参考 保育所における感染症対策ガイドライン

該当疾患に✓	感染症名	感染しやすい期間（一は、感染しやすい期間を明確にできない）	登園のめやす
	麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過していること
	風しん	発しん出現の前 7 日前から 7 日後くらい	発しんが消失していること
	水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮（かさぶた）形成まで	全ての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫張後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫張が発現してから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
	結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
	咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消え 2 日経過していること
	流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失してから
	百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌物質製剤による 5 日間の治療を終了していること
	腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認めるまで
	その他感染症名（ ）		

空欄はその他の感染症等で意見書が必要な場合記入して下さい。インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、「保育所における感染症ガイドライン」では意見書対応の感染症ですが、登園届（保護者記載）で対応します。